**特定非営利活動法人アクションポート横浜**

第1号議案

**2016年度事業報告書**

2016年4月1日～2017年3月31日

**１．市民や組織の連携により、新たな事業やシステムを創造するためのプロジェクト**

# １）横浜サンタプロジェクト

企業・NPOと連携して実行委員会を結成し、横浜に笑顔をプレゼントするというテーマで、４つのサンタが様々な活動を行った。企業に働きかけ車や物品の提供をお願いし、活動に参加しやすい土壌をつくることができた。

日時：2016年12月10日（土）12：00～16：00実施

場所：パシフィコ横浜円形広場集合→各地で活動

当日のサンタ：約830名／当日の来場者：約1000名

・**訪問サンタ**：横浜市内の7施設にオープンカー等でサンタが訪問。

・**広場サンタ**：パシフィコ横浜円形広場にて、子どもが楽しめるサンタステージ企画やブース企画を実施。

・**ドライブサンタ**：子どもたちを対象にオープンカーのミニドライブ体験を実施。

・**清掃サンタ**：横浜にキレイをプレゼント！サンタになって清掃活動を実施

主催：サンタが街にやってきた！２０１６実行委員会

アディエント合同会社、株式会社安藤建設、株式会社イベント・コミュニケーションズ、SMBC コンシューマーファイナンス株式会社、NTTソフトウェア株式会社、株式会社大川印刷、神奈川県印刷工業組合、NPO法人心魂プロジェクト、スカイファーム株式会社、ゾーホージャパン株式会社、東京キリンビバレッジサービス株式会社、株式会社野毛印刷社、ファイナンシャル・ジャパン株式会社、マツダ株式会社、NPO法人横浜市民アクト、横浜市社会福祉協議会、一般財団法人横浜市母子寡婦福祉会、NPO法人アクションポート横浜

２）みんなで作る！「Spice+」（横浜市民活動支援センター自主事業）

「何かしたい」ときっかけを求めている市民がNPO活動に参加するきっかけを作ることを目的に、「SPICE＋」の

企画運営を行った。サイトには大学生や若手社会人がレポーターとしてNPOの活動現場を体験して、現場で感じた思いや魅力を記事として掲載し、発信した。

**レポーターチーム**

　学生や若手社会人向けにレポーター養成講座を６月・９月で実施し、若者がレポーターとなってNPOの現場を体験、情報収集を行い、現場レポーターを随時アップしていった。2016年度末現在で、28記事をアップすることができた。

現場体験ツアー

　参加のきっかけづくりとして、３団体に対して１日かけて現場体験ツアーを実施した。前半では、現場を体験し、後半は団体スタッフに対してインタビューを行った。

**２、市民や市民活動団体の地域の課題解決やそのための組織運営を支援するプロジェクト**

## ３）ヨコハマ市民まち普請事業

横浜市都市整備局地域まちづくり課との協働事業。市民が主体となった身近なまちのハード整備に関する提案を募集し、２段階の公開コンテストで選考された提案に対して、最高500万円の整備助成金を交付するなど、市民のまちづくり活動への支援を行う事業。2015年度からほぼ全ての業務を担当している。

アクションポート横浜が担当し実施した事業は以下の通り。

○ヨコハマ市民まち普請事業部会運営（前年度整備箇所視察、二次コンテスト対象提案事前視察含む）

○一次コンテスト：７月２日(土)＠西地区センター体育室

○まちづくり大作戦（活動懇談会＋企業マッチング会）：９月24日(土)＠横浜市市民活動支援センター

○整備成果報告会：11月12日(土)＠横浜市市民活動支援センター

○二次コンテスト：１月29日(日)＠横浜市市民活動支援センター

○（市民向け）まちづくりのツボ発見バスツアー：２月11日(土)

○整備事例集vol.10の制作

○都市整備局地域まちづくり課の広報誌「ヨコハマ人・まち」の企画・制作

○都市整備局地域まちづくり課“公認”Facebookページ『ヨコハマ市民まち普請ひろば』の運営

## ４）あさひみらい塾（旭区地域づくり大学校）

地域活動や社会貢献に関心があるが、方法論やきっかけが見出せない区民を対象に、地域活動や地域課題解決に向けた議論の場を提供し、担い手不足を課題と感じている地域団体と、何か新しいことを始めてみたい方とのつながりづくり、自治会町内会、市民活動ボランティア団体との交流と出会いの場の提供をすることで、新たな地域の担い手の発掘と育成を行う事業。10月〜２月に開催した全６講の講座全体の企画・運営、広報、報告等を行った。

## **３．市民活動や地域の課題解決に関する相談、コーディネート**

## ５）盆栽カフェ

石井造園株式会社との協働により盆栽カフェの運営を行った。盆栽を通じて地域でのコミュニティづくりや文化の発信を目的として、磯子区の社会教育コーナーでの「ミニ苔玉づくりワークショップ」と中華街パーキングでの盆栽カフェを定期的に開催した。また、２月には国際協力を明治学院大学の学生で構成されたベトナムとミャンマーの子どもたちの教育支援を行っているJUNKO Associationとのコラボ開催も行った。

６）みなみハッピープロジェクトの実施（野毛印刷社・教育支援協会との協働）

みなみハッピープロジェクトとは、「まちを元気にハッピーにする」をコンセプトに、子どもたちが主体的にまちへ関わる機会を地域企業と地域NPOが協働して、2014年度より提供してきた。2016年度は「こどもお店レポーターになろう」というテーマで、子どもたちが職業体験する場や南区のお店の魅力を発しんする機会を作ることができた。

７）企業からの相談対応・コーディネート

企業の社会貢献活動や地域参加への相談に対応し、必要に応じて企画の実施や運営を行った。2016年度は、JXエンジニアリング株式会社新人研修企画運営等のコーディネートを行った。

８）ホームページ・SNSの運営

アクションポート横浜のホームページ（http://actionport-yokohama.org/）、Facebookやtwitter等のSNSの運営を行った。

９）メールマガジンの発行

APY通信を毎月1回発行し、会員向けに情報発信と活動報告を行った。

４．市民活動や地域の課題解決に関する情報提供と問題提起

１０）NPOインターンシップ

県内大学と連携を図り、学生がNPOに一定期間インターンシップ活動を実施した。10日間の体験コース（短期）と６か月の実践コース（長期）の２種類のインターンシップを実施した。トヨタ財団　イニシアティブ・プログラムの支援を受けて実施することができた。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 参加者 |
| 10日間の体験コース（短期） | 34名 |
| ６か月の実践コース（長期） | ４名 |

参加大学：８大学

横浜国立大学、横浜市立大学、桜美林大学、神奈川大学、フェリス女学院大学、関東学院大学、横浜商科大学、

明治学院大学

参加NPO:19団体

NPO法人アークシップ、NPO法人ＷＥ２１ジャパン、片倉うさぎ山公園管理運営委員会、NPO法人教育支援協会南関東、NPO法人ぐらす・かわさき、NPO法人グリーンママ、コトラボ合同会社、NPO法人さくらザウルス、
NPO法人アクト川崎、障害者自立生活センター ＩＬ・ＮＥＸＴ、鯛ヶ崎公園プレイパーク管理運営委員会、
NPO法人地球市民ＡＣＴかながわ、日本の竹ファンクラブ、NPO法人びーのびーの、NPO法人みどり福祉ホーム、
NPO法人横浜NGO連絡会、横浜自然観察の森、NPO法人STスポット、NPO法人アクションポート横浜

「地域でつながるワカモノ×NPOインターンシッププログラム」との情報共有と交流会

同じくトヨタ財団の支援を受けている認定特定非営利活動法人藤沢市市民活動推進連絡会が実施するインターンシッププログラムと連携したプログラム運営を行い、広報面の連携と情報交換会の開催を行った。

## １１）地域企業インターンシップ

昨年度に引き続き、横浜市内の地域企業へのインターンシップのコーディネートを行った。

　○横浜中華街パーキング協同組合

　学生数：３名　内容：広報課題解決、就職説明会の企画・運営

## １２）学生企画エコツアー

公益財団法人資源循環公社との連携事業との横浜市内の大学生が企画運営をする環境活動の現場を体験するバスツアーを開催した。2016年度は、横浜市内の環境サークルが連携し、横浜の水源地道志村を訪問した。今後も継続していく予定。

１３）ヨコハマ地域合同試職会「ハマショク」 の準備会

学生が主導となり、地域企業をつなぐ横浜型合同就職説明会ハマショクを実施した。2017年度は学生委員会がアクションポートから独立して運営を行っていく。

１４）横浜型プロボノプロジェクト「横浜アクションプランナー」（YAP）

若手社会人約120名が参加し、NPOの広報支援や若者を巻き込んだプロボノ活動などを実施した。2016年度まではアクションポートが事務局として運営を行ってきたが、次年度は独立して運営を行っていく予定。

## １５）ライフキャリア教育かながわモデル発信事業

神奈川県の委託事業として、ライフキャリア教育かながわモデル発信事業を実施した。主には県内大学での出前授業、教材作り、ロールモデルブックの作成などを行った。